

平成28年9月2日

嬉野市議会議長 田口 好秋 様

総務企画常任委員会
委員長 辻 浩一

総務企画常任委員会報告書

平成28年6月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則107条の規定により報告する。

付託事件名 観光施策の取り組みについて

「調査理由」

当市に於いて主産業である観光業はバブル崩壊後、旅行の形態が変化し企業などの団体での宿泊が減少し、厳しい状況が続いていたが、その後インバウンドなどの誘客対策などがとられ、海外からの宿泊客が増加しつつあるが、海外からの誘客はその国の国情によって影響を受けやすく、また国内に於いても災害などの発生による風評被害を受けるなど観光産業は不安定要因を抱えており、嬉野市の経済活性化の鍵は、交流人口をいかに増加させるかが大きな課題である。今後誘客ニーズに期待できる体験型観光について、勝ち組の体験型観光で上位にランクされており、ふるさと納税で注目を浴びている平戸市の観光施策について調査を行なった。

「調査の概要」

調査日 平成28年8月8日（月）
場 所 平戸市役所第一委員会室
時 間 午後1時30分から午後3時30分
対応者 平戸市役所観光課・平戸市観光協会

平戸市は、長崎県の北西端に位置し、平成17年、1市2町1村の合併により現在の平戸市となっている。平成17年4万人だった人口が平成27年度で約32,000人となっている。少子化の影響もあるが、水産業の衰退により雇用の場を求めて市外への人口流失が続いている状況は、どこの自治体でも抱えている課題と同様であった。

平戸市は、観光も主な産業の一つであり、東アジア誘客3県都市連携など観光の誘客にも力を入れているが、ネックとなるのが交通アクセス不便さである。主要な公共交通

機関が佐世保市からとなるので、民間のバスや私鉄に特急便の要請を行なっているが実現していないのが現状である。また、韓国からの船便としてビートルの寄港も行っているが、定期便とはなっていない。今後定期便に向けて誘致を行っていくとの事である。

また、地方創生の新型交付金を活用し公共交通機関（レンタカー・フェリー・観光タクシー含む）を使って宿泊すればキャッシュバックする施策も行っている。そういう状況の中、旅行代理店からの提案で『平戸で遊びつくせ！！』と言う体験型の観光施策を行っている。形式としては、平戸観光応援隊という組織を設立し、受付や管理運営を地元イベント会社に委託している。体験の利用の仕方としては、レジャーチケット（200円×5枚）を購入し、各体験場所での支払いとなる。体験の申し込みはそれぞれ可能日があるので事前予約が必要となっている。体験の内容は次の通りである。

メニュー	チケット 子供	チケット 大人	実施場所
バナナボート	6	6	千里ヶ浜海水浴場
スタンドアップパドルボート	3	3	千里ヶ浜海水浴場
アクアチューブ	1	1	千里ヶ浜海水浴場
クリアカヤック	5	5	千里ヶ浜海水浴場
貸しボート	2	2	千里ヶ浜海水浴場
釣り体験	5	5	川内漁港
プール	1	2	シーライフひらど
漁師体験	15	20	白石漁港
シュノーケリング	16	16	度島地区
シーカヤック	30	37	荒崎海水浴場 千里ヶ浜海水浴場
乗馬体験	10	10	シービューランチ
ローラーレーサー&バギー	2	2	ホテル蘭風テニスコート
沢登り体験	1	1	紙漉の里
無人島体験	1	1	宝亀地区
トレジャーハンティング	5	5	生月町博物館 島の館
昆虫採集	7	7	山野地区
昆虫観察	1	2	たびら昆虫自然園
夜の観察会	1	2	たびら昆虫自然園
木の実の工作	5	5	たびら昆虫自然園
平戸城お化け屋敷	4	4	平戸城
くじら玩具作り体験	6	6	生月町博物館 島の館

兜づくり体験	1 1	1 1	平戸城
お気軽着物体験	1 3	1 5	松浦史料博物館
電動アシスト付き自転車	2	2	平戸市観光案内所
市内周遊観光バス	4	9	平戸市観光案内所
平戸城入館	1	2	平戸城
松浦史料博物館入館	1	2	松浦史料博物館
島の館入館	1	2	生月町博物館 島の館

この他に焼き物の透かし彫り・絵付け体験、水産加工体験、塩づくり、農産物収穫体験などがある。中でも一番人気があるのが、漁師体験（定置網引き揚げ）で台湾からの客の体験が多く、また乗馬体験も利用が多い様である。中には受け入れ側との体験調整が厳しいメニューもあり、今後精査すべきものもあるようであった。

アクティビティーの運営は、夏場の期間限定なので地元若者の雇用が厳しいと言う課題があり、現在佐世保市内の大学生のボランティアを活用している。それでも人手が不足気味であり、このボランティア活動をインターンシップにして授業の単位にもなっているが、宿泊所等の確保が難しく、佐世保市内からの送迎となっているので運営上厳しい状況であった。

ちなみに、ふるさと納税の成功の要因は、水産資源の豊富さもさることながら、それまでに受注、発送のシステムが構築されていたことが功を奏したとの事であった。

「委員会の意見」

今後も旅行形態の変化が予想されるが、嬉野市の誘客にとって体験型の観光も重要な商品の一つではないかと言える。市内においては体験できる産業や祭りなどの伝統文化があり、体験型の観光商品となるのか精査を行ない、旅行代理店との連携も図りながらブラッシュアップしていく必要があると考える。

誘客にとって大切なことは情報の一元化であり、予約・受付・チケットの販売や市内イベントの情報発信が一か所で完結する事が体験型観光はじめ誘客の円滑な運営につながると思うので、一つの考え方として、今後観光担当課と観光協会のワンフロア化を行ない、誘客に対しての情報が全て網羅できるような一元管理が望ましいのではないかと考える。